

令和5年度事業報告書

令和5年4月1日～令和6年3月31日

特定非営利活動法人たすけ愛ふくろう清田

1 事業実施の成果

- 日常生活支援事業では、活動時間が前年比105%と着実に増えたが、計画値には至らなかった。
- 「お茶の間カフェふらっと」はリフォーム後、計画通り1月から子ども食堂、2月からは子育てサロンなど、新たなメニューをスタートし、参加者数の拡大にも繋がっている。
「スマホ教え合い」もさらに賑わい、年間利用者数 1,424名（1ヶ月休みで）と着実に伸長した。
- さぽーとほっと基金助成を受け「出前サロン」を5回開催、127名が参加された。
ヨガやふまねっと、太極拳などへの参加者から、サロンの利用へと徐々に繋がっている。
- 北海道社会福祉総合基金助成を受け、清田区住民のシニアライフ活性化を目指した講演会を6回開催した。参加者（延べ149名）にとって課題解決への良い機会となった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の決算額 (単位：千円)
①高齢者、障害を持っている人等、日々の暮らしの中で困難を抱えている方々への日常生活支援事業	・介護保険など公的サービスでは足りない支援や、地域社会での様々な決まりごとの狭間で起こっている困りごとを、チケットを介して気兼ねなくお願いしたり、協力したりする「助け合い」を組織的に広げる地域会員制助け合いの仕組みづくりを進めた。	(A) 随時実施 (B) 清田区全域及び隣接地域 (C) 35人	(D) 登録会員 (E) 180人	712
②元気で生き生きと過ごせる居場所づくり、地域サロン事業	・生きがい活動 ・情報交換活動 ・地域貢献活動	(A) 月～金曜日 10:00～16:00 (B) 清田区平岡 (C) 1人/回	(D) 清田区平岡地域住民 (E) 年間 1,424人 月平均 129人	250
③地域でともに生きる福祉の充実を目指すまちづくり事業	将来に不安を抱えるシニアに向け、医療、健康、住まいについて講習会を開催し、疑問、不安にお応えした。	(A) 2月～3月 6回開催 (B) 平岡地区会館 (C) 延べ 12人	(D) 地域課題に関心のある市民 (E) 延べ149人	500
④「子ども食堂」を中心として、地域の様々な人が交わる多世代交流拠点作り事業	イオン平岡店の協力で子どもたちの居場所、多世代交流拠点づくりを目指した。5月からは本来の会食形式での再開となった。	(A) テイクアウト形式 1回 会食形式 8回 (B) イオン平岡店 (C) 延べ 189人	(D) イオン平岡近隣の5小学校 (E) 延べ 431人	62

(2) その他の事業

事業名	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の 人数	(D)受益対象者 の範囲 (E)人数 (3月末)	事業費の 決算額 (単位：千円)
	実施せず			